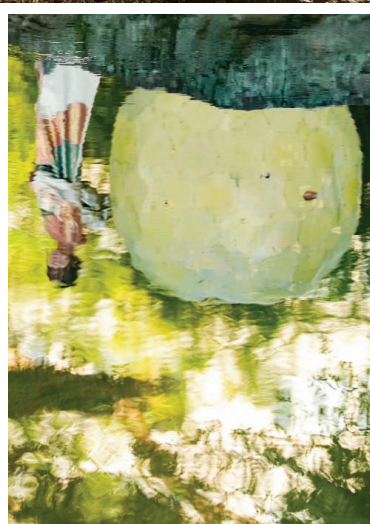


池にたゆたう百月影

～揚輝荘におけるインスタレーションとワークショップ～

梶本雅好研究室 企画 柴田育歩



1. 背景
- 名古屋市中心部東部の城山・覚王山地区では毎年、様々なイベントが開催され、地域を盛り上げている。揚輝荘での、過去の卒業研究の話を聞き揚輝荘に興味を持った。市民団体の「ちくさ・文化の里づくりの会」や千種区役所と協働する機会を得て、覚王山にある「揚輝荘」でイベントを開催する。
2. 目的

現地調査をして、揚輝荘を訪れる人の年代層は、偏りがあることが分かった。そこで、様々な年代の人を対象とした、参加型インスタレーションを企画することで様々な年代層の人達に揚輝荘に足を運んでもらいたいと考える。

揚輝荘の歴史や文化に触れた、インスタレーションとワークショップを開催することで、多くの人達に揚輝荘に興味を持ってもらい、足を運びきっかけを作ることとする。

3. 企画詳細
- ちくさ・文化の里づくりの会が主催となる「城山覚王山の紅葉を楽しむ～まちの魅力をみつけよう～」のイベントの中で、揚輝荘庭園を会場としたインスタレーションとワークショップを企画・運営・実施する。
4. スケジュール

本企画は、ちくさ・文化の里づくりの会での企画会議の段階から関わり、作品展示、ワークショップに向け制作を軸としたものである。

2023年3月から12月までの年間スケジュールを【表1】に示す。

3月	インスタレーション・ワークショップ内容検討
4月	北園・南園見学
5月	揚輝荘での打ち合わせ 企画提案・日程調整
6月	敷地調査
7月	タイトル決定
8月	構造決定
9月	紙芝居作成
10月	月の絵の依頼（訪問・紙芝居） フライヤー作成 データ作成・レーザー加工機・染色
11月	作品制作 柵・看板制作 設営 展示・ワークショップ アンケート
12月	撤収

5. インスタレーション作品
- 『池にたゆたう百月影』
- －名前の由来－
- 100人が描いた月が1つの月になり、池にゆらゆらと映っている様子を表したタイトルとした。
- －作品について－

揚輝荘が迎賓館として使われていた当時、揚輝荘の庭では、池に映り込んだ月を舟に乗って愛でていた。その当時の優美な情景を再現できたらと思い、月が池に映り込んだ様子を作品とした。揚輝荘の歴史について多くの人に知ってもらうため、100人の参加型のインスタレーションとした。依頼をするにあたり、揚輝荘の歴史を盛り込んだ紙芝居【図1】を作成した。その中で、池に反射した月を舟に乗って愛でていたことを伝え、100年経った今私たちがどのような月が映っていたら見てみたいか？と問いかけて、思い思いに月の絵を描いてもらうこととした。



- 【図1】紙芝居
- －制作過程－
- 絵を依頼する際に、紙芝居をして未就学児から80代以上の様々な年代の方に絵を描いて頂いた【写真1】。



- 【写真1】月の絵を描く様子
- 描いて頂いた月をデータ化し、PPをレーザー加工機でカットした。その後、PPを月のように見せるため、黄色に染色した。そして、100枚のPPを直径150cmのボールを基盤にし、ハトメで一枚一枚つなぎ合わせていった。強度を出すため、10cmと15cmのPPを隙間にいれていき、一つの月にした作品とした。また、当時の様子を再現するため、作品が池に反射するようにした。
- 完成した池にたゆたう百月影の写真を【写真2】に示す。



- 【写真2】
6. ワークショップ
- インスタレーションと同じPPを使った月の形のストラップ、しおりを作成するワークショップとした。月の形は三日月、半月、満月から好きな形を選び、揚輝荘の聴松閣の模様をチャームのようにつけることで、揚輝荘に興味を持ってもらえるようにした。また、参加費無料・申し込み不要にすることで気軽に来てもらえるようにした【写真3】。



【写真3】ワークショップの様子

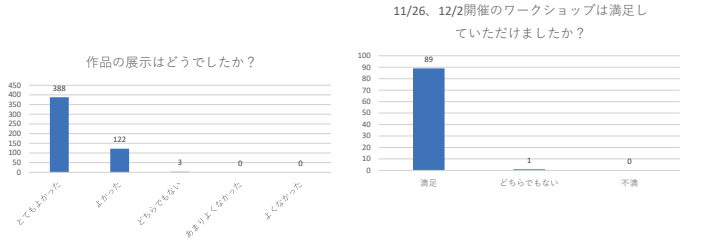
7. 広報
- フライヤー作成を行った【図2】。フライヤーは、揚輝荘、日泰寺参道にある「えいこく屋紅茶店」、「覚王山アパート」、「ファータデルデ覚王山」の3店舗に置かせて頂いた。また、研究室のInstagramアカウントで発信した。広報などや【図2】、ちくさ・文化の里づくりの会発行のチラシに掲載して頂いた【図2】。
- 展示期間中にチャント！で紹介頂いた【図2】。



【図2】フライヤー、ちくさ・文化の里づくりの会、広報などや、チャント！

8. 期間
- インスタレーション
- 日程：2023年11月18日（土）～12月3日（日） 月曜日休園
- 時間：9:30～16:30
- ワークショップ
- 日程：2023年11月26日（日）、12月2日（土）
- 時間：10:00～16:00
9. アンケート結果

展示期間中の土日祝の7日間でアンケート調査を行った。533人の方にアンケートを記入して頂いた。そのうち、90名の方にワークショップに参加して頂いた。結果の一部を下記に記す。



10. 企画結果・まとめ
- 多くの人に訪れて頂き、作品を見て頂いた。アンケートの結果からも揚輝荘に興味を持って頂けたことが分かる。100人の参加型のインスタレーションにすることで、月の絵を描いてくださった人が揚輝荘に興味を持ち42人の方に足を運んで頂いた。
- ワークショップも2日間で90名の方に参加して頂くことができた。老若男女問わず気軽に参加でき、自分で好きなように作ることができたことが大きな要因であると考えられる。この企画を通して、幅広い年代に揚輝荘の魅力を伝える目標が達成したと考えられる。

